

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
22420	環境経済局 環境保全部	公園課	課長	森 晃	042-769-8243
施策名	地域の特性を生かした公園の整備				

1 施策の目的

貴重な遺跡やかけがえのない自然環境を保全し、郷土の文化遺産として後世に継承する歴史公園や、自然環境と共生し、良好な景観を形成する風致公園など地域の特性を生かした公園の整備を進める。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- しおだテクノパイル公園は、区画整理事業で市に帰属した公園用地を中心に平成19年度に地域住民の憩いの場として整備した。
- 史跡田名向原遺跡公園は、後期旧石器時代の貴重な遺構が発見され平成11年に国指定の遺跡となり、平成17年度から平成20年度まで段階的に整備している。
- 小山公園は、平成16年度から18年度までの3ヵ年計画で芝生広場、多目的グラウンド、ニュースポーツ施設などを整備した。

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

- 現行では整備面積を目標値とし、計画的に公園整備を行っていることから、指標上の目標は達成しているが、今回は利用者の満足度などの指標により整備後の成果なども分析する必要があると考えている。
- 今後、新総合計画の策定に合わせて施策体系を見直し、その施策に沿った指標を設定する。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	B	2次評価	B	3次評価	B
------	---	------	---	------	---

- ◆ 施策目的から成果を示せる指標「公園利用率」や「利用者満足度」などを設定すること。
- ◆ 市民ニーズを把握し、公園事業全体の中で、効果が高い事業に資源の集中化を図ること。
- ◆ 公園整備について、相模原市としての全体イメージが掴みにくい。市民にわかりやすい施策体系を検討すること。

5 改善に向けたスケジュール	平成 20 年		平成 21 年												平成 22 年		
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
① 現行の施策体系における現在設定中の指標の見直し																	
○ 設定中の成果指標の見直し	→																
○ 成果指標・目標値の再検討・再設定 (整備進捗率+利用者満足度等)							● 設定										
○ 指標データの検討・収集 (指定管理者等との調整など)				→													
② 新たな施策体系の構築と指標の設定																	
○ 新たな総合計画策定に伴う施策体系の再構築	→																
○ 新たな成果指標の設定			→														
③ 事業の選択と集中																	
○ 施策評価による公園整備事業の検証									→								
○ 整備箇所の見直し・予算編成											→						

施策評価の実施

▼ 《反映》

新たな総合計画の策定

